



つて、一年の始まる時期が異なることになりました。  
 日本に伝わった中国の暦は、立春年初で、立春を含む月、  
 あるいは立春の近くの新月の日が年初となっていました。立  
 春は今の2月4日ごろですから、今の正月よりも、季節的  
 には春に近い感じの正月であったと思われれます。  
 日本に伝わった、今の西暦の年初は、単純に言えば、冬至  
 年初です。ですから、正月が立春から冬至へ、1ヶ月半、前  
 倒しになって、「初春」というには違和感のある季節が正月  
 になっていくというわけです。  
 月や太陽の灯り、潮の干満や季節の移ろいが、日常生活に  
 大きな影響を与えていた時代では、月や太陽を基準として  
 一年を区切ることに意味があり、新年を祝う気持ちになるこ  
 とは分かるような気がします。  
 農業や漁業を営む人にとっては、季節感に若干ズレがあ  
 るとしても、一年の区切りは今でも大きな意味を持っている  
 と思われれます。しかし、都会で生活する者にとって、一年の  
 区切りとは、どのような意味を持つのでしょうか。  
 ノツペリと流れる時間、日常を、一年という期間で区切る  
 意味。都会で生活する者こそ、真剣に考えるべきことかも知  
 れませんね。そこで提案。「新玉の年の初めに誓いして」の下  
 の句（七、七）を、考えてみませんか??

生活保護は、無差別平等、困窮の事実に基づいて、誰でも（永住権を持つ外国人を含む）活用することが出来ます。

65歳以上でなければ、あるいは病気でなければ受けられない、というのはウソです。

大阪市立更生相談所（市更相）は、阪堺線の東側、公衆便所横のガードを東に抜けて、交差点を渡ったところにある建物です。

医療センター（大阪社会医療センター）は、「ある時払いの催促無し」、借用書で受診できる医療機関です。市更相あるいは西成労働福祉センターで診療依頼券をもらってから行く必要があります。

医療センターは、センターの建物外の東側に入り口があります。

「自助努力援助のための手引き書—生活保護は怖くない」（無料）をまだ受け取っていない人は、声を掛けてください。手引き書を読んだ後は、役所で保護申請、不動産屋へ。

20歳から50歳代前半くらいまでの人は、自立支援センターを活用する道もあります。寝場所・食事を提供し、就職活動を支援する施設です。入所希望者は、大阪市立更生相談所（市更相）で相談を。

不動産屋さん紹介（気軽に相談を。しかし、真剣に）

※ 双葉商事さん（電話 ~~06・6561・4392~~）

鶴見橋商店街の奥（西の端）。敷金不要の今すぐ入れる物件もあります。勿論、風呂付き敷金要の物件も。とりあえず電話で時間を決めて、その後の段取りを決めましょう。

※ フラップさん（電話 ~~06・6658・8888~~）

26号線花園交差点、イズミヤの南6～7メートル。西成区以外の物件もあります。

必ず、実物（部屋）を2～3見て比較、周囲の環境を考えて、得心して決めましょう。